

速報第2608号 H28. 3. 23発行 総務課 扱	道議会における質疑・質問及び答弁要旨	28年・1定 一般質問 3月10日	質 問 者	広田まゆみ 議員 民主党・道民連合 (札幌市白石区)
質 疑 ・ 質 問	答 弁		担 当 課	
<p>三 北海道の強みを活かす人材育成について (二) コミュニティ・スクールについて 次に、学校運営協議会の導入の意義について、うかがいます。いじめ問題に対する対応など、学校をとりまくさまざまな問題の解決の一助となる可能性は、私も否定しません。また、この学校運営協議会の導入は、北海道において著しく導入率が低く、地域に開かれた学校運営のために推進することは、当然と考えますが、なぜ、多くの課題があるなかで、学校運営協議会が重点とされているのか、学校運営協議会の導入によって、子どもたちの未来のためにどのような変化を学校や地域に期待し、実現しようとしているのか、教育長に伺います。</p>	<p>(教育長) 次に、コミュニティ・スクールについてでございますが、人口減少や少子高齢化など、社会が急激に変化する中、子どもたちには、これからの時代を生き抜く力を育むためには、学校と地域が目標や課題を共有しながら地域総掛かりで子どもたちを育むことが重要であると考えております。 このため、道教委といたしましては、地域住民が学校運営に参画するコミュニティ・スクールを導入することにより、学校においては、地域住民の連携・協力を得て、地域の文化や産業、自然等を活用した教育活動の充実が図られ、子どもの学びの広がりや学習意欲の向上が期待されるとともに、地域におきましては、学校に対する理解を深め、学校を中心とした地域のネットワークを形成するなど、地域づくりの促進が期待されるものと考えております。</p>		義務教育課	

質 疑 ・ 質 問	答 弁	担 当 課
<p>(指摘)</p> <p>三 北海道の強みを活かす人材育成について (二) コミュニティ・スクールについて</p> <p>最後に、指摘をさせていただきます。いわゆるコミュニティ・スクール、学校運営協議会の推進の意義や、総合的な学習の時間や、体験学習の推進などについて、教育長から御答弁をいただきました。</p> <p>確かに、開かれた学校運営は重要であります。これまで私自身、教室炊飯などの学校給食の在り方や、部活動指導における外部指導者の導入や、学校図書館の開放、アウトドア教育の導入など、地域からの様々な学校との協働・連携に関わる要望に携わってきましたが、残念ながら、決して簡単ではなく、閉鎖的な印象を受けたことも一度ではありません。</p> <p>これまで総合的な学習の時間などを活用して、個別の教職員などの努力によって、学校と地域の連携が図られていた面があると、私としては認識をしています。その中で、総合的な学習の時間が減少し、教科教育の重視の傾向に、北海道の強みを生かすために私としては、危惧をもっていたところです。</p> <p>道教委としては、ウェブページなどの活用や、各種研修会を通じて、指導助言しているとのことですが、知事・教育長が、重点としてこだわる学校運営協議会の推進においても、私としては、教科学習以外の総合的な学習の時間の有効活用や、体験活動の推進、また、日本においては、学習指導要領に現在位置付けられていないアウトドア教育なども、保護者の側の意識改革も必要ではありますが、地域発、北海道発の新たな挑戦として、後押しされるような仕組みが、その中においても検討されるべきであると指摘をし、再々質問を留保して質問を終わります。</p>		